

前回開催の親サポ レポート

日 時：平成26年7月19日（土）

テーマ：『心について、考えてみよう！』

講 師：福井県総合福祉相談所 精神保健福祉士 岡村久美 氏



岡村久美氏は、今年の4月に開設された福井県ひきこもり地域支援センターの担当をされています。

まず、ミニ講義として、「ひきこもる心とどう向き合っていくか」というテーマに触れられました。ひきこもり当事者にとって、大きな問題は対人関係であるということから、親子関係に焦点を当て、岡村さんが実際に支援してきた中で、ご本人や親御さんが口にした言葉を基に話されました。

親の言葉に対する子供の言い分や拒否してきた父親を許す子供の気持ち、また、ひきこもる子どもとの関わり方に困惑しながらも、親として思いやる心境などを紹介していく中で、岡村さんは支援者として、今の状況からどうやって抜け出したらよいかというヒントを下記のように例示されました。

- ① 人はすぐには変わらない。これまでできなかったことを少しずつできるようにしましょう。
- ② 「働かざる者、食うべからず」という正論やお説教は、本人を傷つけるだけのようです。
- ③ できるだけ口を利く機会を作る。(将来の話や友人など本人が気にしていることは触れない)
- ④ 本人が安心してひきこもっていただける環境をつくること。(自分を責めないよう居心地よく)
- ⑤ 親自身が好きなことをする。生きることを楽しむ姿を子供に見せる方が良い影響になる。
- ⑥ ひきこもりは長期戦、居場所を見つけるまで時間がかかるものです。(そういう覚悟が必要)
- ⑦ 自助グループや居場所支援を利用する。自分だけではないという安心から心の交流が始まる。
- ⑧ いろんな相談機関を尋ね、自分に合ったところを見つけましょう。

講義の最後に、「喧嘩しても仲直りできる」日常を子供たちの目にさらすことが大切だと締めくくりました。大人には、人間関係のしがらみの中で、助け合わなければならない状況があり、折り合いをつけていく営みを子どもに見せていくこと。そのことで、人間関係を修復する力を身につけ、人に対するやさしさなどの情緒が育っていくとのことでした。

後半は、グループに分かれ、お互いを褒めあうワークをして、皆さんが打ち解けたところで、ひきこもっているある男性を例に、お小遣いを渡すことやインターネットばかりしていることについて、参加者の皆さんで話し合いました。その是非について、白黒つけるのではなく、具体的な事例を通じて、ご自身が話をしたり、他の方の意見が聞けたことで、皆さんは、改めて親子関係について考えさせられたという感想が多く見受けられました。

～参加された皆さんの感想～

※他の人の家族事情が少しわかって、安心しました。

※子どもの気持ちになって、ひきこもりのことに関して考えてみようと思いました。

神経質になりがちなので、おらかな気持ちで接したいと思います。

平成26年度

(親のためのセミナー)

親サポ 嶺南開催のご案内



～みんなで、一緒に考えよう～

ふくい若者サポートステーション「サポステふくい」は、若年無業者の方への職業的自立支援を行う機関です。ご本人への支援はもちろんのこと、ご本人を支える親御さんの方々への支援も行っております。

今年度も、嶺南での開催を予定しております。講師による講話の他、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。

「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？

ぜひ、ご参加ください。

9月のセミナー 平成26年9月20日(土) 開催

セミナー講師： 前敦賀短期大学教授 龍谿 乗峰氏

テーマ： 「こころの在りかと様々なシグナル」

現在は、大学や専門学校などで講師をされており、専門分野は家族臨床心理学、カウンセリングからの臨床などです。浄土真宗本願寺派乗秀寺の住職でもあります。

時間：午後1:30～午後4:00

対象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定員：20名

場所：若狭ものづくり美学舎内(若狭町大鳥羽)

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか



【お問い合わせ】

ふくい若者サポートステーション

『サポステふくい』

TEL：0776-21-0311

【開催場所】

三方上中郡若狭町大鳥羽 27-13-4

(JR小浜線 大鳥羽駅舎内)

若狭ものづくり美学舎内